

< 神於山地区生活環境保全林自然再生事業実施計画の概要 >

実施主体：大阪府泉州農と緑の総合事務所、神於山保全くらぶ

自然再生の対象となる区域

全体構想における神於山地区自然再生区域のうち、北側斜面の岸和田市の所有地を主とした約37ha(保安林)

自然再生事業の内容

(1) 目的

人が山に入り管理できる里山を再生するため、竹林の侵入・拡大を防ぐとともに、森林の荒廃状況や整備目標等により森林を類型化して森林整備を実施

(2) 基本方針

地域住民やボランティアが維持管理可能な活力ある森林の再生

(3) 具体的な事業内容

荒廃森林のタイプ別整備

- ・タケ優占林(約7ha)：林種転換による目標林への誘導
- ・クズやササのヤブ状地(約3ha)：林種転換による目標林への誘導
- ・荒廃密生林(約18ha)：本数密度調整により健全な林に誘導
- ・自然誘導林(約7ha)：現況林を維持

付帯施設の設置

- ・森林の維持・管理を行う作業歩道などの付帯施設を含めた施設整備

モニタリング

- ・再生された自然環境のモニタリング調査
- ・タケの利活用による自然再生モニタリング調査

ここのやま  
< 神於山地区自然再生全体構想の概要 >

自然再生の対象となる区域

大阪府岸和田市神於山（約180ha）

自然再生理念

- (1) 森・川・海のつながり
- (2) 人と自然・人と人とのつながり
- (3) 里山とまちとのつながり

自然再生の目標

- (1) 長期的目標
  - 里山の再生
  - 「自然植生の保全と回復」
  - 「活力のある森の再生」
  - 「市民が親しめる自然の再生」
- (2) 当面の目標
  - 竹林の適正な整備
  - 「竹林の拡大防止」
  - 「竹林の適正な管理」
  - 「タケの利活用の推進」

協議会に参加する者の名称等

地元住民代表	13名
地元専門家	1名
NPO代表等	10名
地方公共団体	9名
関係行政機関	3名
計	36名

